

教科「数学」

科目「数学B」

単位数	3単位
担当者	岩井淳哉
教科書	改訂版 高等学校数学B (数研出版)
副教材等	改訂版 教科書傍用クリアー数学Ⅱ + B (数研出版) 改訂版 チャート式基礎からの数学Ⅱ + B (数研出版)

【1】科目の目標

数列とベクトルの考えについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用することができる。

【2】科目の内容と進め方

- 1学期：平面上のベクトル
- 2学期：空間ベクトル
- 3学期：数列、融合問題を含む演習と発展教材

【3】学習上の留意点

予習では、教科書や参考書を用いて、定義や概念に関わる部分の理解に努める。授業はグループ学習を中心に行い、協同的な作業を通して、基礎的な知識の習得と技能の習熟を行う。さらに発展的な問題に取り組むことで、事象を数学的に考察し表現する能力を養う。授業後は、傍用問題集の復習プリントを用いて、基礎・基本の定着を図る。

【4】学習形態

教室で授業を行う。教材に応じて一斉、ペア、グループ学習個人など、様々な学習形態で学ぶ。

【5】評価の方法と評価の観点

① 評価の観点

- 1 関心・意欲・態度：各単元における考え方に関心を持つと共に、数学の良さを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとしているか。
- 2 思考・判断・表現：各単元の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けようとしているか。
- 3 数学的スキル：各単元の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技法を身に付けているか。
- 4 知識・理解：各単元の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けているか。

② 評価の方法

- ・ 授業での学習活動の様子、演習課題への取り組み状況から、主体的に学習しようとする態度を評価する。
- ・ 定期考査や単元テスト、課題テストから、基本概念や数式を用いての処理が体系的に理解し、知識を身に付けているかを評価する。

【6】その他

進路目標に応じて、より難易度の高い問題演習の添削を希望者に実施する。